

<研究名称>

未破裂動静脈奇形の手術適応と予後に関する全国実態調査

<実施責任者>

脳神経外科 瀧澤 克己

<研究期間>

倫理審査委員会承認後～2020年3月31日

<研究の目的・意義>

脳動静脈奇形は10～30歳代に発症することが多く、若年者の頭蓋内出血の原因として最多の疾患です。年間破裂率は1.7～2.2%ですが、発症すると生命や脳の機能に深刻な影響を及ぼす恐ろしい疾患です。欧米での研究では予防的治療の効果が明らかにされていませんが、今年の医学の進歩によって手術の安全性が各段に向上してきています。現在の本邦における未破裂脳動静脈奇形の治療成績について調査を行い、これから同様の疾患の治療を受ける患者さん方にとって有用な情報を得ることを目的とします。

<実施内容（方法）等>

本研究では、診療録を利用し、未破裂脳動静脈奇形に対して手術加療を行った患者さんの背景、臨床症状、放射線学的所見、治療法、合併症や転帰等を調査します。この上で、手術の方法、神経学的転帰、周術期合併症を主に検討します。この研究は本邦の脳神経外科を標榜し脳神経外科手術を行っている施設から診療録データの提供を受け、奈良県立医科大学「医の倫理審査委員会」の承認および学長許可を得て実施します。

収集したデータは、匿名化した上で統計的処理を行います。国が定めた倫理指針に則って、個人情報厳重に保護し研究発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 脳神経外科 部長 瀧澤 克己

実施担当者 脳神経外科 副部長 竹林 誠治

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 脳神経外科 竹林 誠治

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648